

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	23015
課題名	急性心筋梗塞における熱ショック蛋白を介したポストコンディショニングの心保護効果に関する検討
研究期間	実施許可日 ～ 2023年 12月 31日
研究の対象	2012年6月1日から2018年7月31日までの期間に、当院に救急搬送され発症12時間以内に緊急カテーテル治療を行った急性心筋梗塞の患者さん
利用する試料・情報の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 診療情報（詳細：年齢、性別、入院中の検査データ・治療内容など） <input type="checkbox"/> 手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名： ） <input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> その他（ ）
試料・情報の管理について責任を有する者	旭川医科大学 学長 西川 祐司
研究の意義、目的	<p>突然心臓の血管が閉塞する心筋梗塞の治療として、カテーテルによる再疎通治療は有用であり、現在多くの施設で行われています。しかし、再開通によりかえって障害が大きくなる（再灌流障害）場合もあり、これをいかに減らすかが重要です。</p> <p>急性心筋梗塞のカテーテル再疎通治療の際に、短時間の虚血と再灌流を繰り返すポストコンディショニング法は心保護効果が得られ、再灌流障害が縮小する可能性が報告されています。当院でもポストコンディショニング法が行われていますが、その機序や有効性の評価などはまだ十分検証されていません。本研究ではポストコンディショニング法の有効性を検証し、その心保護効果の機序として熱ショック蛋白の関与を明らかにすることを目的とします。</p>
研究の方法	診療情報、DPC情報より、患者情報(年齢、性別、身長、体重、既往歴、入院中の血液検査、画像データ、治療内容、死亡の有無など)を抽出し解析します。研究に伴う追加の検査等はいりません。
その他	研究に関連して開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p>

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者 竹内 利治 旭川医科大学病院循環器内科 講師

連絡先 旭川医科大学病院 循環器内科

住所：旭川市緑が丘東2条1丁目1番1号

電話：0166-68-2442